

令和7年度 内子高等学校 シラバス

教 科	数学	科 目	数学研究	単位数	3単位	学 年	3学年
教科書	自作プリント	副教材等	数学就職問題集（愛媛県高等学校教育研究会）				

1 学習の目標

1・2年生で学習した高校数学の基礎的・基本的な知識および技能の確実な定着を図り、数学における概念や法則についての理解を深め、それらを的確に活用する能力を身に付け、それらを活用する態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	数と式 集合と論証 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則や因数分解の公式などをしっかり復習し、計算力・応用力つけます。 2次関数に関するいろいろな問題の演習を行い、応用力をつけます。 	中間考査
	図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係などの復習をし、正弦定理・余弦定理を再確認して応用力をつけます。 	期末考査
第2学期	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 分散や標準偏差、散布図や相関係数などを扱い、データを整理・分析することを学びます。 	期末考査
	場合の数と確率 図形の性質	<ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を解くことで、確率の問題パターンを整理し、応用力をつけます。 図形における様々な定理について復習し、図形の問題の応用力をつけます。 	
第3学期	数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて学びます。 	

3 評価の規準

【知識・技能】

数と式、図形と計量、2次関数、図形の性質、場合の数と確率及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。

【思考・判断・表現】

命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学の重要性を認識し、数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて粘り強く考え、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価方法

学期ごとに、評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。